

# 栃木地方最低賃金審議会開催

## 中小企業の経営支援と下請け単価の改善を図り最低賃金を引き上げることが政府の責任です

今年第一回目の栃木最賃審議会が、七月七日栃木労働局で開催されました。

県本部からも山内執行委員長と石井書記長が傍聴参加しました。

今回の審議会開催に先立ち七月三日、栃木県労連議長名で、栃木労働局長に対し次の五項目について要請しました。

地域最低賃金を時間額千円以上に引き上げ、時間額千円以上、日額八千円以上、月額十七万円以上」の全国一律最低賃金制の実現を図ること、

本審議会に倣い専門部会の審議を公開すること、

審議会において、最低賃金生活体験者・時間給労働者などからの「意見陳述」の場を設定すること、

最低賃金に関わる監督官を増員し、監督行政の強化をはかり、違反企業に対する罰則を強化すること、

最低賃金を大幅に引き上げるためにも、中小企業対策予算を増やし、中小企業の経営支援策を拡充すること。

次回審議会は、七月三十一日です。 参照

### 松原運輸争議

裁判 第六回  
八月三日(月)午前十時から  
宇都宮地裁

### 日祥運輸倉庫争議

労働委員会  
八月四日(火)午後二時から  
県労働委員会

裁判  
八月五日(水)  
宇都宮地裁  
いずれも 傍聴可

### お知らせ

県本部執行委員会  
八月一日(土)十八時  
組合事務所にて

建設労全国大会  
八月二十九日(土)  
八月三十一日(月)

福島・磐梯熱海

### 事務所お盆休み

お盆休みは左記の通りです。  
八月十二日～十六日  
宜しくお願ひします。

## 自宅敷地からダンプ盗難 警察犯人取り逃がす

小山市在住の斉藤武夫さんは今年五月、自宅敷地内からダンプを盗まれました。

夜一〇時三〇分頃、庭の砂利を踏む音に家族が気づき、自宅二階から外を見ると、いままさに犯人らがダンプに乗り込み、エンジンをかけて四号線方面に発進するところでした。

家族はすぐに警察に連絡して逃走方向も説明します。自宅は小山市警察署から三キロ程度の距離にあり、パトカーで緊急追跡すれば検挙できるはずでした。

ところが警察は犯人を取り逃がします。 栃木県警に対策強化を要請します。

### 組合員紹介

#### 建築職人 米沢富栄さん

## イノシシ駆除80頭

米沢富栄さん(佐野市)。本職は建築(外壁)職人ですが、近年イノシシ駆除に取り組み、昨年は自作の檻で八〇頭以上捕獲しました。



写真はワナで鹿を捕獲したときのもの。国と市から「駆除費」が支給されますがあくまでボランティア活動。鹿の害も深刻ですが「鹿はやっぱりかわいそう」。

各地でイノシシによる農作物被害は年々深刻になっていきます。県の調査では被害額は年間一億円以上。農家には大問題です。

檻のなかに糠をひいてイノシシが食べに来たら重みで柵が落ちる仕組みです。イノシシは警戒心が強く、いまここに設置するのは半年以上経ったつけどまだ二頭しか入りません。



自作の檻を示す米沢さん。自宅にはやはり自作の薪ストーブ。燃料は現場で余った木材等。エコライフ実践者です。

「五年位前ですが、自宅の畑をイノシシが十頭位集団で横切ったんです。近頃、イノシシは増えてきました。設置はできません。」



イノシシにも言い分はあるでしょう

第二回栃木地方最賃審議会は午前九時半から栃木労働局で開催されます。傍聴希望者は二十八日の午後五時までに申し込みを。詳しくは栃木労働局のウェブサイトの「トピックス」をご覧ください。